

令和8年度第1回図書館運営協議会

1. 開催日時 令和8年6月1日(月) 13:30~15:00
2. 開催場所 軽井沢町立離山図書館 1階閲覧室
3. 出席者 委員：石村 順子、押金 洋仁、石橋 美代子、藤岡 聡子
(敬称省略) 清水 智子、山崎 伸一、倉坪 知之、高野 隆之
事務局：市村 和則、土屋 利彦、高橋 由理子、亀田 阿耶

4. 会議事項

- (1) 令和7年度事業報告
- (2) 離山図書館のイベント開催について
- (3) 離山図書館の提言について

委員皆様からの意見

離山図書館来館者推移

試行期間中の調査

5. 傍聴人数 0名(定員3名)
6. 議事内容

1. 開会

【事務局】

ただいまより、令和8年度図書館運営協議会を開催いたします。

最初に課長よりご挨拶をお願いいたします。

【生涯学習課長】

皆さんこんにちは生涯学習課長の市村です。本日は誠にお忙しい中、図書館運営協議会にご参集いただきまして大変ありがとうございます。本日はですが議題がありまして、皆さんにもお配りしてあります令和7年度の事業報告書と今年、この離山図書館が50周年を迎えるということで、その関連したイベントの計画のご説明や図書館友の会から提言がありました提言を皆さんに知っていただきご意見があったらお出しいただきたいと思っております。また、中軽井沢図書館は通年で開館していますが、ここ離山図書館は期間的な開館になっていますので離山図書館がより良い図書館になりますように気がついたことや忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日はよろしくお願いたします。

【事務局】

ありがとうございました。着座にて進めさせていただきます。次に、C会長にご挨拶いただきます。お願いいたします。

2. 会長

【会長】

こんにちは。本日はお忙しい中ありがとうございます。だんだん暑くなってきましたけれど、今日はできるだけ迅速に進行に努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

【事務局】

はい。ありがとうございました。

本日2名の方、欠席ということでご連絡入っております。そして委員10名中出席者8名ですので会議は成立することをお伝えいたします。

今回の開催に当たりまして事前に資料を郵送させていただきました。本日お忘れの方いらっしゃったらお伝えください。持ってきていただきありがとうございます。

それでは規則第2条第2項に基づきまして、会長が議長を務めていただくことになっておりますので、C会長よろしくお願いいたします。

3. 協議事項

(1) 令和7年度事業報告

【会長】

それではお預かりさせていただきます。次第、資料の順番に進めたいと思います。

令和7年度事業報告につきまして何かご質問はありますか。

【事務局】

令和7年度事業報告の説明をさせていただくと、来館者数と貸し出し数は（前年に比べ）若干少ないですが、先日テレビで（番組名は忘れましたが）長野県の小学生80%以上が図書袋を持って歩いていると紹介されていました。同番組で「デジとしょ信州」がとりあげられており、長野県にある市町村と県が主体で開いており加入者も年々増えております。

それと顧問である名誉館長の朗読ということですが、6年度は源氏物語ということで、シリーズでやっておりました。7年度につきましては朗読者の育成をしたいという顧問の意見がありまして、朗読講座を11回させていただき、3月は発表会ということで開いております。

あと文化講座を見ていただきまして、この中でも、宮本えつよしさん、小池真理子さん、宮本輝さん、この3名については、すぐに予約がいっぱいになってしまって、図書館にまで並ぶほど申込者が多くいました。宮本輝さんにおきましては動画配信を許可いただきまして、希望者のみ動画配信をさせていただきました。

今後の評価ということでは、私達の方もDX化ということで進めております。携帯やパソコンから登録して申し込みをされますと、中軽井沢図書館には書庫がございませんので、毎日ようになりまして（離山図書館にある本も）貸し出しをさせていただいております。

また今後につきましては資料にも書いてありますけれど、学校との連携ということで考えております。令和4、5年度から新しいシステムを入れた際に（学校連携が）行えば、ちょうどタイミングがよかったのですが、（できなかったので）この先学校と図書館との連携のタイミングを見計らって共有できるようなことを考えていきたいと思っております。

以上です。

【会長】

こちらを踏まえて何かある方、ご質問ご意見はありますか。

【A委員】

3 ページ目の今年度の評価および今後の方向性ですが、生徒というか子供たちが優先的に席の利用をできればいいなと思う反面、大人たちも結構来ますから、蔵書点検の期間すらも多目的室を開放してもらえるのはやっぱり改めてすごくいいことだなと思いました。

学校との連携というのはどういったことか、少し舞台の部分もお聞かせいただけるといいなと思います。町には公営、私立、インターナショナルスクールもありますし、どの部分を一番まず力を入れて、あるいは継続していくということがあれば少しお聞かせいただけますか。

【事務局】

まだ具体的には公表はできるものではありませんけれど私ども（図書館側）が考える学校の連携としましては、公立の小学校3校と中学校1校です。

図書館が主体のシステムと（他の4校とも）同様のシステムを持ちたいと考えております。サーバー自体が軽井沢町立図書館にあり、学校も連携すれば、小学校では本の購入なども重複することがなくなったり、同じシリーズものでもこちらの図書館こちらの学校ではこういう出版社の本のシリーズを入れたということがわかったりすることで（シリーズが）重複する本の購入もなくなるのではないかなということでは考えています。

これにつきましてはまだ図書館側の意見ですので、（具体的に）いつからということにはわかりませんが、これから先、タイミングがいいところを見計らって、学校、こども教育課と話を進めたいと考えております。そうすることによって、図書館司書の先生たちとも公共の図書館とも連携ができると考えております。また学校は書庫が元々ないということで廃棄する本も年度で切り替えることが多くなります。（町立図書館でも廃棄はしていますけれど、）その廃棄本についても、図書館の方でチェックができて、残しておいたらいいんじゃないかなとかという意見も言えるようになります。今はそれぞれ学校単独で1台のパソコンの中で管理されていますので、これから実施計画、その他この先のタイミング見計らって、そういうのが少しずつでもできればいいかなと思っております。

それから、軽井沢町としては、先ほど言いましたデジとしょ信州ですけど、やはり公立の学校の先生方にも理解を示していただいて、学校として加入していただければいいなと思っております。

以上です。

【会長】

ありがとうございます。他に何かご質問よろしいでしょうか。

【B委員】

離山図書館は期間中無休じゃないですか。中軽井沢図書館は8月だけは無休です。離山図書館が開館中、中軽井沢図書館がお休みのときには（離山図書館）の利用者が増えるのかどうかうかがいたいです。

【事務局】

その辺、後でお話ししたいと思います。

【会長】

離山図書館についてはあとでまとめた形になります。それではもし何かあればまた最後にお伺いします。

（2）離山図書館のイベント開催について

【会長】

では、続きまして、まず議題2番の離山図書館のイベント開催につきまして事務局の方からご説明をお願いします。

【事務局】

資料1の令和8年度離山図書館開館50周年記念イベントということで説明します。7、8、9月今回は10月もありますけれど、大きくはできませんが、入口側に、ここを設計した三輪さんの解説や今に至る図書館の説明、それからこちらに開館当時や、移動図書館の写真それに移動図書館のステーションの看板とかを飾っております。

また、イベントトークセッションとしまして、7月4日に運営協議会石村さん、友の会の小宮山洋子さん、青木顧問ということで、「離山危機一髪！からのラウンジ文庫誕生」と題して行います。今図書館を入れてきて左手にあった昔は児童図書室だった場所を中軽井沢図書館ができてから、そこを友の会の人が開放しており、どなたでも本を読める、ノートに記名するだけで本が借りられる場所になっておりますが、そういうお話をしていただければと思います。

12日にはエホンゴホン堂の平林さんと前館長の原富士子さんと私（図書館長 土屋）の「離山の思い出 児童室と移動図書館」と題したトークセッションになります。エホンゴホン堂さんの平林さんは子供が小さいときからよく（離山図書館）に来ていて、久しぶりにお会いしたときにぜひこの思い出を話したいということで（実現しました。）50年経つ間に図書館を利用して関係を築いた人たちと話をしたいということで開く予定です。その後小さいコンサートを開催します。

8月7日には元館長の対談ということで、今、佐久の関係の郷土史を（研究され）、教育委員会で長くお勤めになられていた高橋勝さんや原富士子さんと一緒に、避暑地の図書館を訪れた人々ということで、日誌芳名録を見ながら昔のことを語っていきたいということで考えております。内田康夫さんがよくここにきていただいております。内田さんの会議はそのときの館長がよく呼ばれていたのです。そういう話も出るかなと思います。

図書館文化講座は中軽井沢図書館の多目的室で行います。作家の松家さんの「火山のふもとの図書館で」ということで、建築家の小説ですけど、ここにも来たことがあります。軽井沢の魅力とかをお話していただきたいなということで、予定しております。

10月30日の金曜日に「図書館友の会と離山に登ろう」は毎年開いておりますが、今回はイベントの一つとして、離山に登っていただきたいなと思います。

それから7月1日から10月31日まで開館中パネルとかを展示して、離山図書館の中を司書の塩飽が簡単に説明するというので予定しています。

(離山図書館開館50周年記念イベントは)以上です。

【会長】

それでは一旦この件で何かご質問ある方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか？

(3) 離山図書館の提言について

【会長】

それでは次に離山図書館の提言についてということで意見交換させていただきたいと思います。

先に私の方から資料2の友の会の提言書について、提言提出に至った経緯ということだけ説明をさせていただきます。この離山図書館を非常に愛している方が友の会には多くいらっしゃって、最初(離山図書館を)閉じるというところの話まで出ていたこともあり、何としても残してほしいということで、ラウンジ文庫というのを作りました。離山図書館では(資料の)貸し出しができないということだったので、図書館で貸し出しができないのもせっかくいらして気の毒かなというのもあり、友の会の会員が主に寄付をしたもので(ラウンジ文庫は)成り立っています。

軽井沢の場合はたくさん本を寄付したい方が大勢いらっしゃいますが、寄付していただくのは自由ですけど帯を必ずつけてもらうことにしました。一冊一冊推薦文を書いてもらって、推薦文が書いてないものについては破棄しますという形で今運営をしています。

友の会では何としても(離山図書館を)残してもらいたいという一旦で始めました。あとこの離山一帯を一緒にやったら(提言したら)どうかという意見もあり友の会の中でも有志ですがほぼご賛同いただいて、10年近く温め提出に至りました。

まだこれからいろいろな町にも協力しながら進めたいなと思っています。

友の会の立場からは以上です。

それでは離山図書館の提言についてですけども、友の会としてはこういう意見を出したんですけど他、何か活用とか、ご意見とかご質問とかある方がいらっしゃればお願いいたします。

まず離山図書館来館者推移(資料3)とか先にうかがいます。

【事務局】

資料3（裏と表あります）をご覧くださいければと思います。

中軽井沢図書館がオープンしたのは平成25年ですね。それから年々（利用者は）少なくなっはきていますが、3年間通年開館をしました。逆に中軽井沢図書館は交通の便もいいですし、学生の利用も多くなってきたので、（離山図書館は）平成28年から3年間、冬季は道路が凍結して危険であることから、12月から3月まで休館し8ヶ月の開館にしました。（3年間の）平均の利用者が約1700から1800人ぐらいにはなりません。その間に、平成29年の11月から翌年の3月にアンケートをしたようです。

このアンケートが、（離山図書館が）休館中に中軽井沢図書館で実施したということもありますけれど平成30年6月教育委員会から図書館運営協議会に諮問いたしまして10月には運営協議会から町へ答申が来まして、3ヶ月間の開館にしようということで、条例を改正し、現在に至りました。やはり3ヶ月間の開館に踏み切るには長い経過スパンが必要だったことから、資料にもありますけれど、今回も令和8年から試行期間を2年ということ考えております。友の会の方で4月下旬から（開館）というようなことで、提言が出ておりましたが、やはり職員の体制、光熱水費のこともありますので、それから何をしにここに来るかということも調べなければいけないと思っております。また後で説明しますけれどもそういう調査を行いまして、2年間（試行期間）にして、また同じように運営協議会の方へ諮問ということ投げかけたいなと考えております。

昨年度は（9月だけで）140人から多かったですけれど、その中には秋の登山の方も多く、休憩場所で外のベンチで休憩したり、トイレ休憩として利用し、ラウンジ文庫があるからそこで（バスの時間や何かで）時間を潰すという方も多くいたようです。

それから、これは調査の要件にも書いてありますけれども、Wi-Fiの問題があります。中軽井沢図書館はフリーWi-Fiを利用できるので、夏になると（フリーWi-Fi利用する）別荘客の方が多くて閲覧室が満席になってしまいます。5月も多目的室を開放した経過があります。

7、8、9月は（フリーWi-Fi利用できる場所が他にないかと言われた場合、）離山図書館は1階と2階にフリーWi-Fiが通っているので、中軽井沢図書館より静かな離山図書館を利用の方が良いかもしれません。

（エアコンに関しては）、エアコンが設置されたということは特に公表もしていないので利用者が増えた要因ではないと思っております。

10月までは夏季バイトも延長として雇っていただいて、2年間様子を見ていきたいと思っております。

資料4を見てください。第1期としまして、今年の7月1日から10月31日まで、第2期は来年の7月1日から10月31日までということでこのアンケート内容で調査したいと思っております。ここに書いてある二次元バーコードはやめようと考えております。実際ここを利用している人に書いていただこうと考えております。簡単な質問しか書いてありません。何が必要で何をやっていこうかということがこの離山の利用では必要になると考えています。

本を読みたい人はリクエストしていただければ、通常ではその次の日には、中軽井

沢図書館で出せるような対応をしていますし、軽井沢のことについて学生さんが勉強したいと言えばもちろん離山図書館にもありますし、中軽井沢図書館には貸し出し用のものもありますので、コーナーもあります。

調査には、年代、利用頻度、それと「試行期間として10月も開館しましたが利用しますか」というのはそれまで7、8、9月の利用者が書いてくれると思っておりません。

それから「一番よく利用する時間は」ということで書いてあります。

「滞在時間」については、パソコンを使用している方が1回お昼を食べに行ってきた来るといことも聞いておりますので、その点も聞きたいと思っております。

「どのような目的で利用しましたか」ということは、図書館の職員一同が一番聞きたいと考えている項目です。「静かな環境を求めて、勉強や仕事をするため」という回答項目を設けたのは、中軽井沢図書館がオープンしたときから、利用者の交流の場の一つという役割を理解してくださらなかった方が多いので、離山図書館と中軽井沢図書館の特性をはっきりとさせ、静かな環境を求めてくるという利点を理解していただくことでもあります。

「Wi-Fiがあるのでパソコンを使用し勉強や仕事をするため」は先ほどと同じです。それから「明確な理由はないが時間があつたため」ということで、バスの待ち時間や資料館に来たついでに来る方がラウンジ文庫を利用していただいておりますので項目として設けました。「登山後の休憩、トイレ使用のため」ということも書かせていただきました。

質問6ですけれども「離山の本もリクエストしていただければ中軽井沢図書館で読むことができます」ということについて「知っていた」、「知らなかった」、「今後休館中には利用する」、ということで、DXで登録していただければ、すぐ連絡が入りまして、職員は離山図書館へ取りにくるということができて、その日次の日には、その方に準備できましたよということで中軽井沢図書館から貸し出すことができますのでこんなアンケートを用意させていただいております。いかがでしょう。

【会長】

ありがとうございます。それではご意見、ご質問ある方いらっしゃいますか。

【D委員】

確認ですけど、こちらの試行期間中の調査ということで、こちらのアンケートをとられるということですが、こちらは任意ということですね。このアンケートはもちろんやっていただくとして、それとは別に来館者数の延べ人数と実人数調査していただけるのでしょうか

【事務局】

毎日このような（資料3の裏面）推計を取っておりますので、可能です。それから、このアンケートもその都度集計ができてくると思っておりますので概ね調査はできるかなというふうに考えております。

【会長】

このアンケートですが、1から4までは、その中でも該当するところがあると思うんですけど、5番は、「その他」というのは必要ないですか。

【事務局】

「その他」わかりました。ありがとうございます。

【会長】

あと他に何かありますでしょうか。

【E委員】

私図書館協議会のメンバーにも関わらずここに足を踏み入れるのが十数年ぶりで先ほどのラウンジ文庫のこともほとんど知らずに何も知らない者としての質問ですが、ここの夏期のオープン期間をどのぐらいにするのが妥当なのかっていうのをいろいろとアンケートだとか来館者数で今後進めていきたいということがベースですよ。これも私勉強不足ですが、ここを夏期の例えば1ヶ月オープンする際の光熱費だとか人件費だとか要はオープンすると、変動費がどれだけ上がってしまうということはどこを見ればわかりますか。

【事務局】

町の会計報告では、離山がひとまとめになっていますが、それを分けて7・8・9月分として調査することができます。離山の開館時間は10時から5時までということで、図書館の職員は女性が多いのでちょっと危険な面もありますので（人事のことも）考えております。E委員の質問された、光熱費その他の件については、また調査してご報告できることと思います。

【E委員】

せっかくの（離山図書館は）町の資産なので、有効活用できるというのが一番いいと思うんですけど、コストがどれだけかかり、それに対してどれだけの来館者数が来るかっていうのを何か数字で見えたら判断する材料が増えるのではないかなというのが今の質問の意図でした。

アンケートで2つ質問があって、二次元コードをやるかやらないかという話しと絡んでくると思うんですけど、二次元コードで回答することで、1人様1回までということのコントロールが難しいかなと思っているので、コントロールの方法を何か考えられるのでしょうか。

【事務局】

最初にもお話しましたが、E委員もおっしゃられたように、やはり二次元コードを使うと、1人で何回も回答できてしまうという懸念がありましたので、この二次元コードはやめようと考えております。こちらに勤務する職員は毎日変わってしまいますが、来館する人は大体決まっていますので、窓口で確認する方法でやりたいとは思っております。

【E委員】

あともう一点だけ。同じくアンケートについて、これはちょっと別の視点からのアンケートの質問です。今回作っていただいたアンケートはこちら離山図書館に来館さ

れた方々に対してのアンケートなので、逆に来ない人へのアンケートをする必要がないのかなというのがあって、要は、中軽井沢図書館は利用しているけど、こちらには来たことありませんよとか、そもそも（離山図書館の）存在をしらなかったという方にアンケートをとる必要がないのかということです。さっきの話に戻るのですが。ここをどう活用しどれだけ来館者数を増やすかっていうのは、やはり今来てない人にきってもらうとか、知ってもらうことが大事なので、ここの来館者さん用のアンケートも必要ですが、中軽井沢図書館を利用している方にもこれと同じアンケート項目ではなく、知っていますか知りませんか？使いたいですかっていう別のアンケートを作ること何か離山図書館を活用するヒントみたいなのが見えてくるのかなと思ってちょっとその提案です。

【事務局】

はい。ありがとうございます。それは大事なこともかもしれません。ホームページや7、8、9月今年は10月も開館するというので今回の広報にも載せてはありますけれど、離山図書館の開館している状況を知らない方もいるかもしれませんので、別のアンケートになるかもしれませんが、また持ち帰らせていただきまして、職員一同と共有し、調査についてどうするか考えたいと思います。またそのことにつきましては委員の皆様にもまたお知らせしたいと思っております。

【会長】

アンケートについて、他に何かありますか。

【委員】

Google フォームを利用すると1回しか回答できないので、QRコードから行った方がいいと思います。

【事務局】

昨年、子供読書推進計画のときも父兄の皆さんにはQRコードで出していただいて、集計させていただいた経過もありますのでちょっとまた協議したいと思います。

【会長】

他、アンケート以外でけっこうですので、提言について何かご意見ご質問のある方はいらっしゃいますか。

【A委員】

離山図書館は子育て世代が使う場所ではなく、中軽井沢図書館の方が良いと私は思っていて、仮に（アンケートを）とったとしてもあるいはこれまでとってきたかもしれないんですけど年齢層は比較的やっぱ高くなるんじゃないかなという印象です。やはり交通網が中軽井沢しか行けないっていうのもあって、ご自分で運転できないと、ここまで来ることができない。いわゆる交通弱者のご高齢のお父さんお母さん方が、時間帯によってはチャンスがあるにも関わらず、ここまで足を伸ばすことができない。可能性をどう捉えるか、少なくともこの開館を伸ばすのであれば、夏場は町外の方も多くいらっしゃるからちょっと難しいかもしれませんが、9月10月公共交通機関バスの臨時の停留所を離山図書館に設けてここまできってもらうとか、ここに来て楽しめる年齢層もあると思うので、沿った形で交通網も一緒に考えることが必要ではないかと今皆さんの話を聞きながら思いました。

【事務局】

実は今回友の会から離山図書館についての提言ということで出されまして、こちらの図書館の延長と、あともう一つは、自販機とか水飲み場がないということ、それとあともう一つバリアフリー化の三つが直接この図書館にかかることだったものです。

それで、①延長につきましてはとりあえず段階的に2年間10月まで開館する。②飲料が確保できるということにつきましては、外の梅の木があるのでその向こう側に散水用の水道があります。この水は降りてきた離山の源水で、資料館の下の駐車場にポンプがあり吸い上げてここで使っています。塩素やなんかはこの水で検査していません。開館中には流しと水道の立ち上げをして、登山者の方にもウォーターサーバーではないですが、冷たい水を使っていたことにしました。図書館の水を利用してもらおうということを知りませんが張り紙をしてお知らせしていきます。

③それとバリアフリーの関係につきましては、スロープをつける修繕を考えております。1階までこの閲覧室までは車椅子の方が入れるように段階的に作っていきたいと思います。現実にはそういう障害を持った方たちが来館するかかどうかということも調べていかなければいけませんけれど、少しずつ段階的ではありますけれど調査しながら、バリアフリーに対応していきます。

それとあともう一つは、この離山公園ということで、地域整備課で雨宮の池に綺麗な水をとという要望に対し、周辺整備が始まっているという状況になります。

それから最後の交通ですけれど、町でやっている巡回バスの件ですが、巡回バスというのは、バックしてはいけないのがまず一つ、それから、ここのロータリーが回れないということで、制限があるという正式な回答がいつているはずですが、各課で協議したうえで、提言書を提出した友の会には回答を出しています。

【生涯学習課長】

さっきのアンケートの中に「交通手段は何ですか」という項目を入れてもいいのかなとは思いました。もしよろしければ追加させていただきたいと思います。

【A委員】

ぜひお願いいたします。なんか図書館に限らず（中軽ではあんまり話題には出ないんですけど、）やっぱり交通弱者とか免許返納者だったり、子供たちもそうですね。この町はやっぱりちょっと置いてきぼりになりがちになるように思えます。やっぱり役場や病院へ行くのもちょっと大変ですし、交通網はいろいろありますけど、何かそことセットでやっぱり考える。行き方行く方法と、中で楽しむというかね、心地よくすごしてまた帰る何かそういうのがいいなと思いました。

【事務局】

正直言って、昔の写真にも残っていますが、その児童室や中2階ではボランティアの方が（読み聞かせ他のイベントを）開いたので、そのときはお子さんが多くいらっしやっていました。他の図書館がなかったということもありますけれど、離山図書館を利用されるお子さんたちは、親御さんが（車に）乗っけてきてくれるという前提ですよね。だからと言って今の中軽井沢図書館の様子を見ても、お子様をお持ちのご両親たちが連れてきてないということではないと思います。

ただ今話題の居場所っていう面では、小さいお子さんは町ではいろいろ対応してい

るので良いと思いますが、（会議等で）中学生の水曜日の居場所がない状態だと思いません。ということで、水曜日の3時から5時までは中軽井沢図書館の多目的室を開放して居場所とする案が（図書館）職員から出ております。

5月（の連休）時もお盆のときも、もちろん多目的室を開放しています。それと6月下旬の蔵書点検時も開けて勉強室で使えるように開放しています。水曜日の中学生への多目的室の開放というのは、本を読んだり、じゅうたんを敷いて横になったり自由に時間を使っていただくようにしたらよいのではないかと考えております。

【A委員】

中学生に限定する必要もないですよ。

【事務局】

ええ。ないですね。

【A委員】

高校生、小学生とかもね。

【事務局】

そうですね。ただそれによってまたうるさくなってしまうことも考えたりしなくてはいけない点の一つではありますけれど、徐々にできる方向で考えております。居場所の問題はやはり町の方でも学校の方でも問題になるのではないかなというふうに考えております。

はい、ありがとうございます。

4. 閉会

【会長】

それではご意見ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。

全体を通して何かある方いらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして、運営協議会を閉会したいと思います。

【事務局】

本日は皆さんお忙しいところありがとうございました。貴重なご意見いただきまして、また7月に向けて早々に協議しまして進めさせていただきたいと思っております。

本当にありがとうございました。